

諏訪之瀬島の火山活動 -2009年6月～9月-*

Volcanic Activity of Suwanosejima Volcano, June - September, 2009

福岡管区气象台 火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台
Volcanic Observations and Information Center,
Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA
Kagoshima Local Meteorological Observatory, JMA

・噴煙活動（第3～6図）

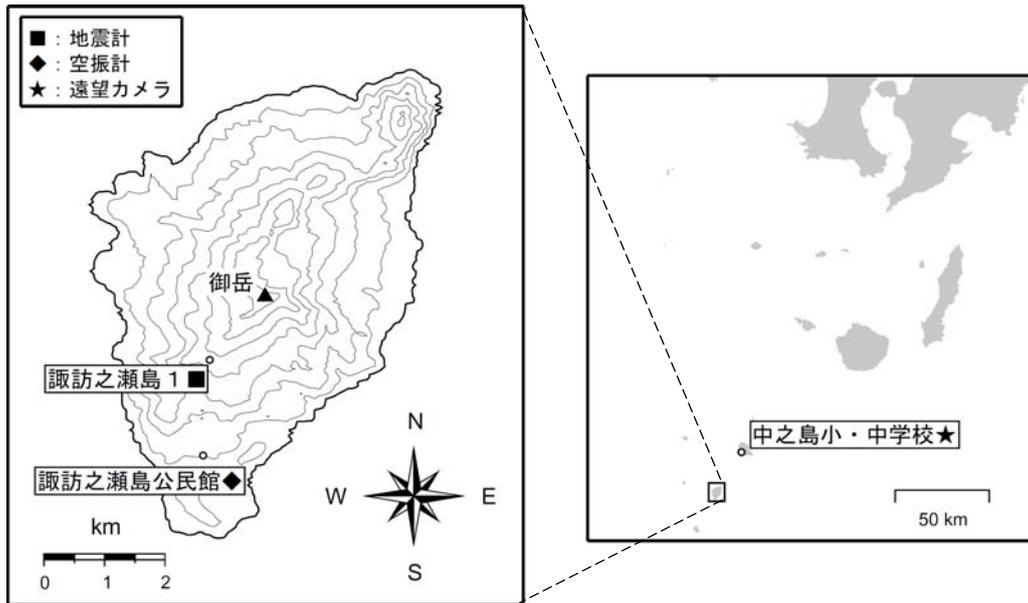
御岳火口では、爆発的噴火¹⁾を含む噴火が断続的に発生した。8月28日に京都大学及び気象庁機動調査班（JMA-MOT）が鹿児島県の協力を得て合同で行った上空からの観測では、御岳火口の北西側に多量の火山灰が積もっているのを確認した。期間を通して有色噴煙が観測され、噴煙の最高高度²⁾は火口縁上1,800m（6月17日）であった。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、8月27日に島内の集落（御岳の南南西約4km）で降灰が確認された。

・地震、微動活動（第2図、第4～6図）

8月27日22時00分頃には、噴火に伴う振幅の大きな火山性微動が発生した。火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

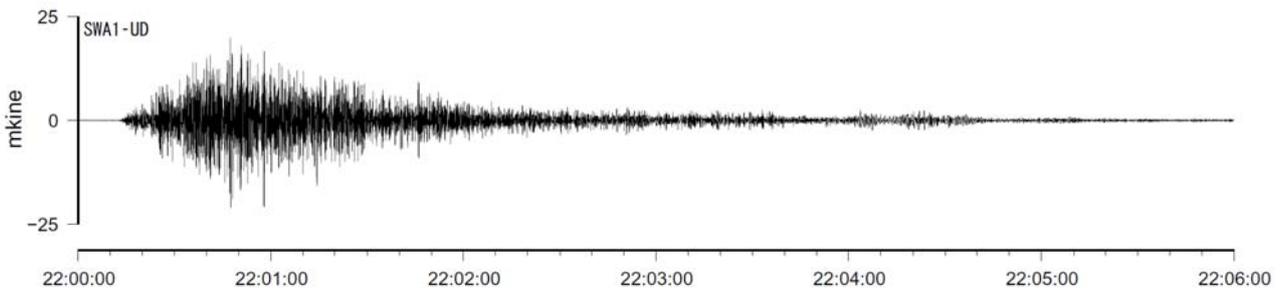
- 1) 諏訪之瀬島では、爆発地震を伴い、島内の空振計で一定基準以上の空振を観測した場合に爆発的噴火としている。
- 2) 2003年3月28日以降、噴煙の最高高度は監視カメラによる観測値と十島村役場諏訪之瀬島出張所の報告値のうち高い値を用いている。



第1図 諏訪之瀬島 観測点配置図

Fig.1 Location map of permanent observation sites of JMA in Suwanosejima volcano.

この地図の作成には、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用した。



第2図 諏訪之瀬島 8月27日22:00に発生した噴火に伴う振幅の大きな火山性微動（SWA1の上下動）
Fig.2 Large amplitude volcanic tremor caused by the eruption at 22:00 on August 27.

継続時間：311秒、最大振幅：20.36mkine。

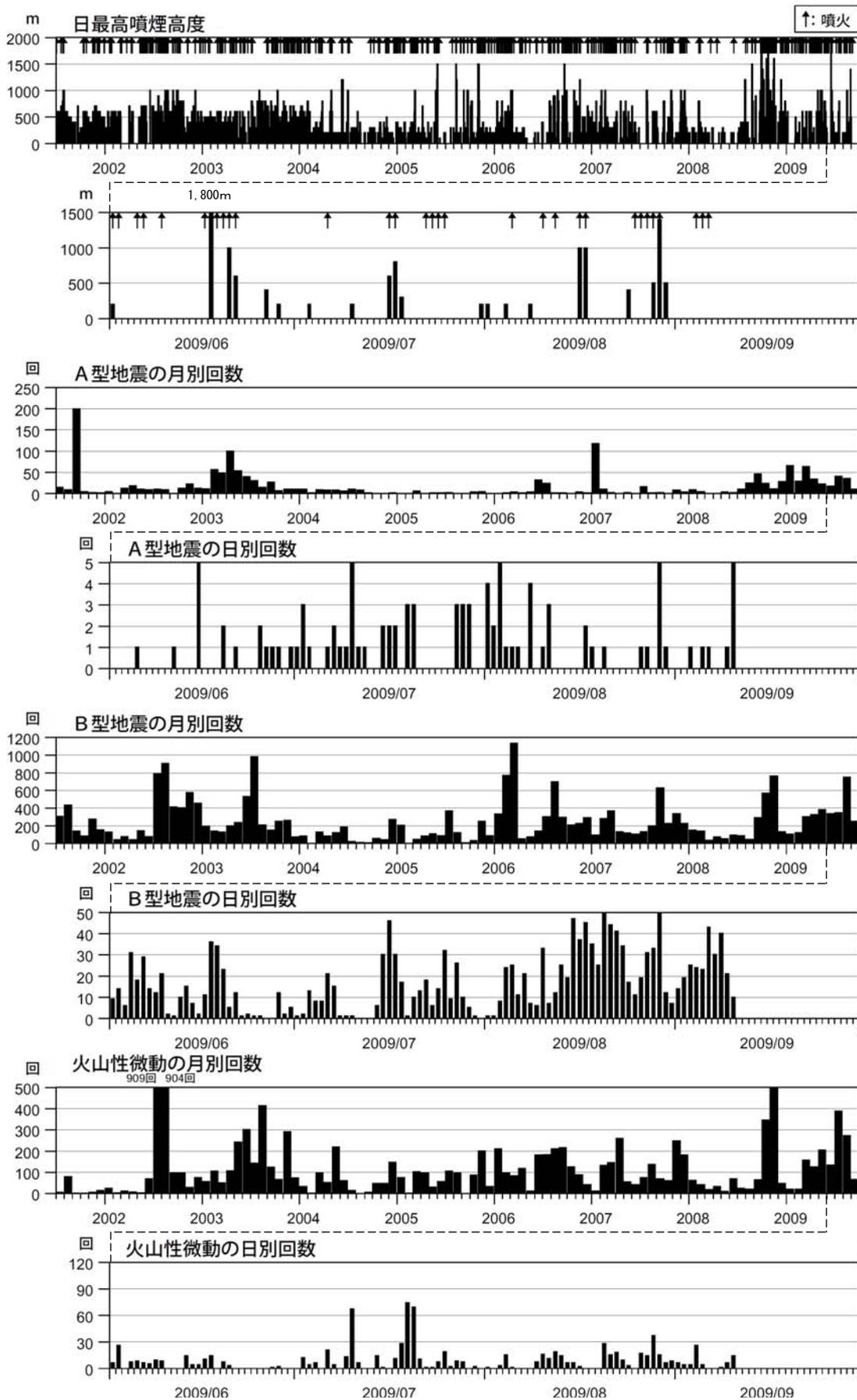


第3図 諏訪之瀬島 上空から撮影した御岳北西部の状況

Fig.3 Visible image of Otake of Suwanosejima.

8月28日に京都大学及び気象庁機動調査班（JMA-MOT）が鹿児島県の協力を得て合同で行った上空からの観測では、御岳火口の北西側に多量の火山灰が積もっているのを確認した。

この地図の作成には、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用した。



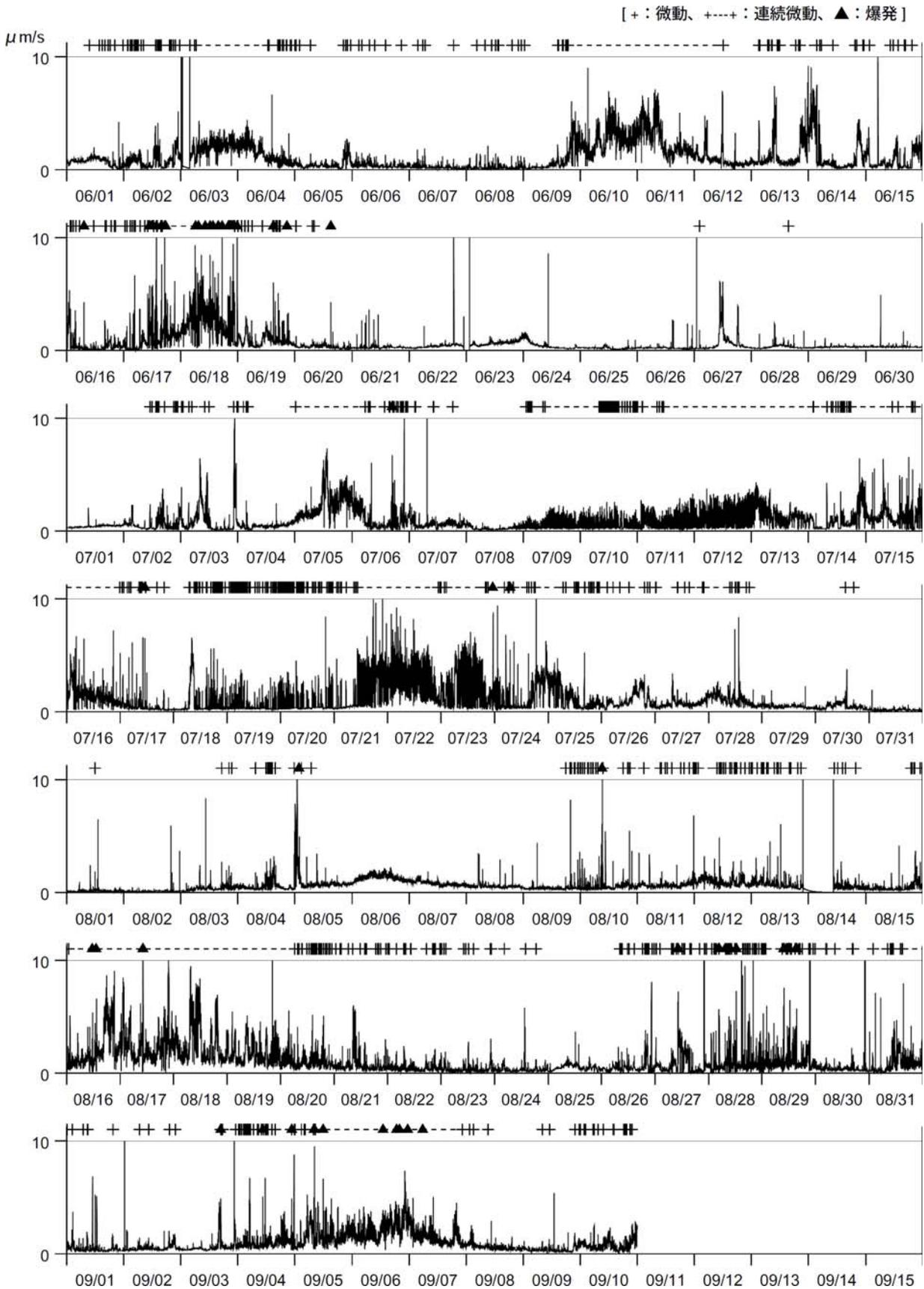
第4図 諏訪之瀬島 火山活動経過図 (2001年7月1日～2009年9月10日)

Fig.4 Volcanic activities of Suwanosejima Volcano (July 1, 2001 - September 10, 2009).

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

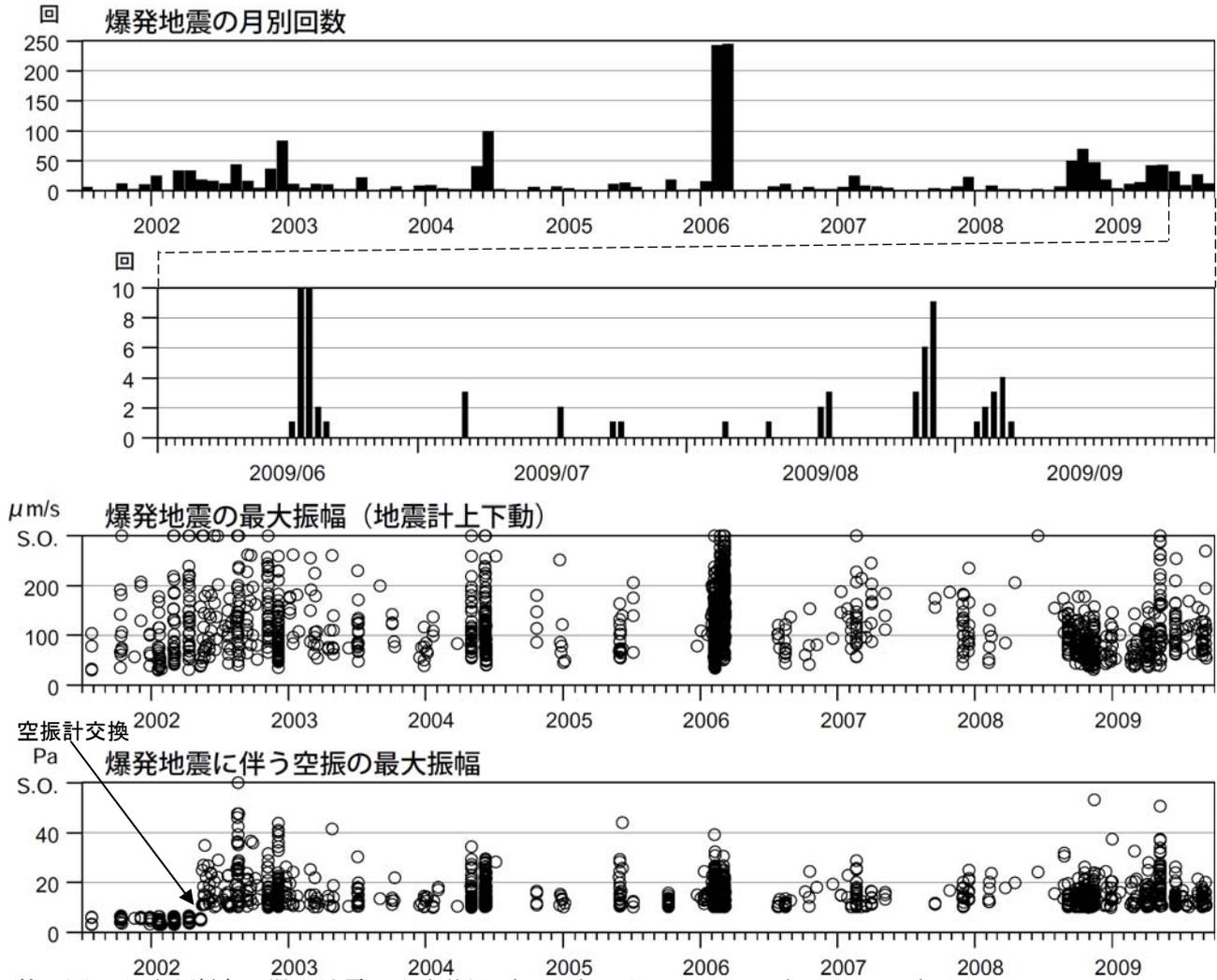
<6月1日～9月10日の活動状況>

期間を通して有色噴煙が観測され、噴煙の最高高度は火口縁上1,800m(6月17日)であった。



第5図 諏訪之瀬島 1分間平均振幅の時間変化 (SWA1の上下動) (2009年6月1日~2009年9月10日)
 Fig.5 Variation of mean amplitude for one minute (June 1, 2009 - September 10, 2009).

<6月1日~9月10日の活動状況>
 火山性連続微動は、期間を通して発生した。



第6図 諏訪之瀬島 爆発地震の発生状況 (2001年7月1日～2009年9月10日)

Fig.6 Monthly number and maximum amplitude of explosion earthquakes (July 1, 2001 - September 10, 2009).

<6月1日～9月10日の活動状況>

爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生した。

*爆発は地震計の最大振幅 $30 \mu\text{m/s}$ 以上 (上下動) かつ空振計の最大振幅 10Pa 以上のものを計数している。